びぃあらいぶ Be Alive!

2016年4月2回号
発行元：パルシステム共済生活協同組合連合会
共済事業部『びぃあらいぶ』編集委員会

パルシステムの保障
http://www.palsystem-kyosai.coop/
パルシステムの保障　検索

次回『びぃあらいぶ』は2016年7月2回

健やかな成長はみんなの願い——

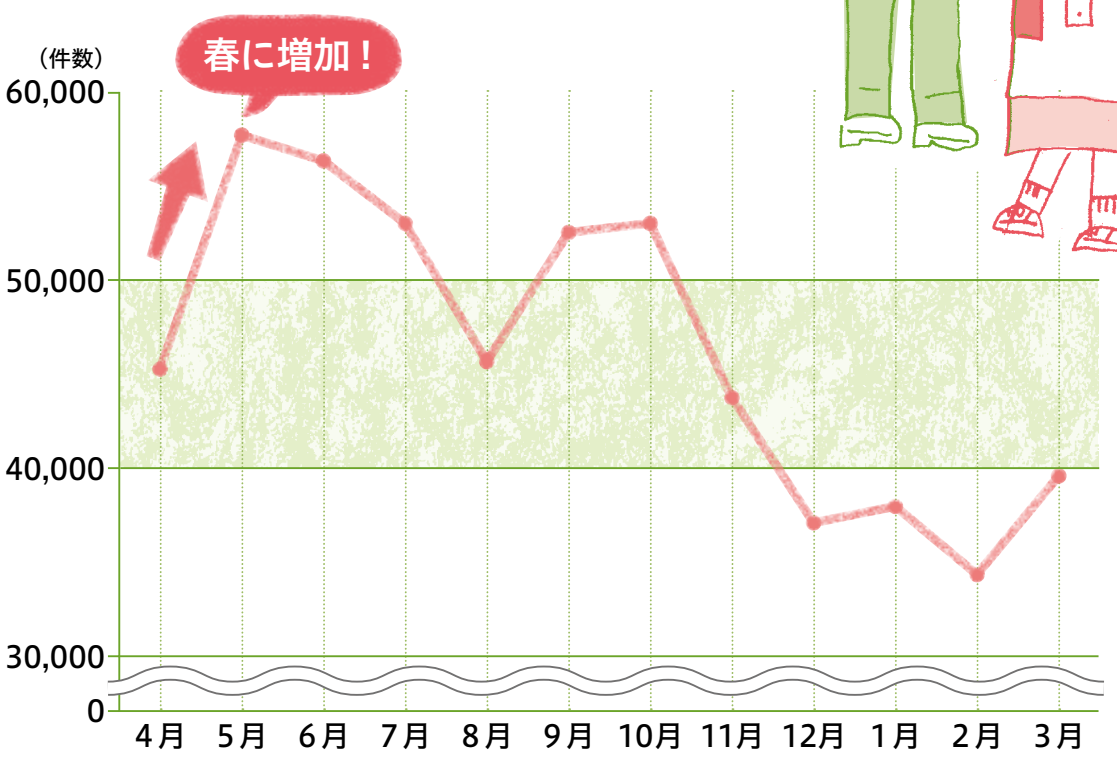
子どものケガ・病気への心がまえ

子どもが元気に育ってくれることは、どの家庭も共通の願いです。
でも、そこは「子ども」。元気いっぱい動き回るがゆえに、
おとなの想像を超える理由でのケガなども少なくありません。
突然のケガや病気にあわてないよう、
日頃から気をつけておきたいことを知り、
備えておきたいですね。

ケガが増えるシーズンに要注意。

じつは、春は子どものケガが増える季節です。
進学や進級などで生活環境が変わることで、行動範囲が広がって思わぬ場所でケガをしたり、新しい出会いや環境で緊張して体調が不安定になったり…。
ちょっとした様子の変化にも気をつけてあげるとともに、ケガの原因となる「危ない場所」や「危ない行動」について、親子で話し合っておきましょう。

CO・OP共済《たすけあい》月別事故（ケガ）通院支払件数



CO・OP共済《たすけあい》共済金お支払いデータ／2012.3.21～2013.3.20（事由確定日）

どんなことに気をつけたらいいの？

子どものケガや病気には特徴があります。

子どものケガや病気の傾向を事前に知っておけば、大ごとになる前に対応・回避ができます。
子どもたちが毎日笑顔ですごせるよう、ちょっとしたポイントを押さえておきましょう。

乳児は「入院」になりやすい

就学前の乳幼児、とくに乳児はちょっとした体調不良でも悪化しやすいため、病院で診察後、そのまま入院になるケースがよくあります。
《たすけあい》のお支払い実績によると、病気での入院原因の上位は呼吸器系の病気が占めています。呼吸の様子など、ヘンだなと感じたら早めに受診しましょう。
また、大人なら通院で済むような扁桃炎や中耳炎も、小さな子どもは入院になるケースがあるので、気をつけたいですね。

CO・OP共済《たすけあい》ジュニア18コース 病気入院共済金の支払件数（未就学児）

順位	原因	支払件数	平均入院日数
1	肺炎	7,794	6.6
2	気管支炎	5,811	6.1
3	ぜんそく	3,931	6.4

CO・OP共済《たすけあい》お支払いデータ／振込日2012.3.21～2013.3.20

年齢ごとに変わるケガの原因

年齢が上がると活動範囲が広がり、毎日の生活パターンも変わってきます。それによってケガの原因にも変化が。
子どもの年齢にあった「ケガ注意ポイント」を見逃さないようにしましょう。

乳児（0～3歳）

順位	原因	支払件数
1	転倒・転落	18,497
2	衝突によるケガ	4,256
3	やけど	3,890

幼稚園・保育園児（4～6歳）

順位	原因	支払件数
1	転倒・転落	21,310
2	衝突によるケガ	5,529
3	交通事故	4,089

小学生（6～12歳）

順位	原因	支払件数
1	転倒・転落	71,917
2	スポーツ用具との衝突によるケガ	21,087
3	他人との接触によるケガ	17,395

中学生（13～15歳）

順位	原因	支払件数
1	転倒・転落	35,678
2	急激な動作による事故	17,691
3	他人との接触によるケガ	14,801

高校生（16～18歳）

順位	原因	支払件数
1	転倒・転落	20,001
2	他人との接触によるケガ	10,952
3	急激な動作による事故	10,815

大学生（19～22歳）

順位	原因	支払件数
1	転倒・転落	3,990
2	交通事故	3,942
3	急激な動作による事故	1,767

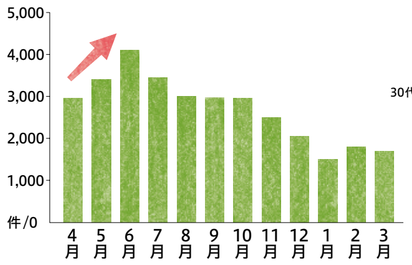
CO・OP共済《たすけあい》年代別ケガ通院の原因（《たすけあい》お支払いデータ 2014.3.21～2015.3.20）
※データは事由確定日時点の年齢で分類しており、必ずしも在園・在学ではありません。

増えている「自転車」によるケガ

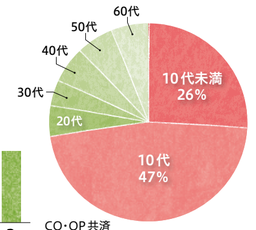
自転車乗車中の事故がもっとも多い年代は、10代未満～10代の子ども。全年代のうちの4分の3近くを占めています。
また活動的になる4～6月に事故が増える傾向が。自動車や自転車などとの衝突よりも、衝突以外の転倒や転落による事故が圧倒的に多いという統計も出ています。
自転車通学を始めたり、友だちと自転車で出かける機会が増える前に、自転車の乗り方や交通ルールについて再確認しておくとよいでしょう。

CO・OP共済《たすけあい》自転車乗車中の事故（ケガ）通院お支払い実績

●発生月別 お支払い件数推移



●年齢別お支払い状況



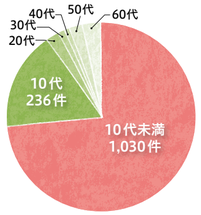
CO・OP共済《たすけあい》共済金お支払いデータ／2013.3.21～2014.3.20（事由確定日）

「インフルエンザ」と「感染性胃腸炎」

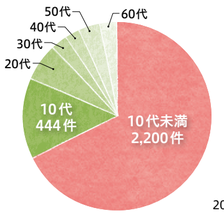
春から終息に向かう「インフルエンザ」と「感染性胃腸炎」ですが、じつは1年間の感染による入院者数は未成年者が圧倒的に多い状況です。
冬にむけて、手洗い・うがいの習慣化など、いまから家族で取り組んでおきたいですね。

年代別入院共済金支払い実績

●インフルエンザ



●感染性胃腸炎



CO・OP共済《たすけあい》共済金お支払いデータ／2014.3.21～2015.3.20

あわせて考えたいこと

保護者に何かあったら… 子どもの生活にも大きな影響が

家計を支えている家族がケガや病気になったり、死亡してしまったら…残った家族はどうなるか、考えてみたことはありますか？

たとえば…

大学在学中に扶養者が交通事故で死亡

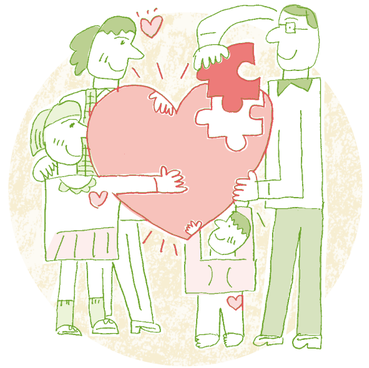
家計を支えている人を突然失うことにより、まとまった金額の授業料を半期ごとに支払うのが苦しくなる場合も。事情により授業料が免除になる大学もあるようですが、そういった制度がなく授業料が払えずに退学するケースも。

たとえば…

扶養者が倒れ、長期療養のため休（退）職に

進路を決める時期の子ども（中・高校生）がいる場合、「進学先での学費を用意するのが厳しい」「家計を支えるために進学ではなく就職を」といった理由で、本来望んでいた進路を変えざるを得ない状況になることも。

このように、生活が大きく変わると、子どもの成長にも大きな影響が。
子ども自身のケガや病気への備え＝保障だけでなく、扶養者の保障についてもしっかりと考え、備えておきたいですね。



ご報告

LPAによる学習会

《セカンドライフセミナー》を開催しました

●開催日…1月14日（木）
●会場…パルシステム福島 いわきセンター組合員活動室
●講師…パルシステム福島 組合員LPA 大川幸子さん
●参加組合員…13名

「ひとはいつか仕事をリタイヤするが、退職後の資産について時間をかけてゆっくり整理・整頓して、シンプルに暮らすヒントをお話しします」という呼びかけで、講師の大川さんの体験も含めて参加者の皆さんにお話ししました。また、快適で幸せなセカンドライフを迎えるために、40～50代の頃にどのような意識を持って生活することが大切か、ポイントを絞って学習しました。
まずは退職後の年間固定費などを算出し数字で確認することにより、セカンドライフへの不安を解消していく手法をわかりやすく説明し、ライフプランを持つことの大切さに気づいていただきました。

学習会の様子

今の備えで充分なのかわからない…

組合員だとお得になる保障商品はないかしら？

保障選びに迷ったらパソコン・スマホで　パルシステムの保障　カチッ！　検索

★スマホに対応！　見やすい画面
空いた時間にさっとご覧いただけるよう、スマートフォンやタブレット端末からも閲覧しやすい画面になっています。

★一度に複数の資料を請求できる！
「複数の商品を比較したい！」　そんなときに共済・保険の資料請求が一度にでき、お手元に届いた資料を見ながら比較していただけます。

2016年4月、さらに使いやすくパワーアップ！
健康づくりや家計を応援するコンテンツも登場します。
お楽しみに！！

※イメージ画像です。デザインは変更になる場合があります。